

アブストラクト：

oneM2M の基本オントロジーは oneM2M で扱われるデータの言語体系 (セマンティクス) を規定する基本的なフレームワークを規定する。セマンティック相互接続の実現のために、他団体によって基本オントロジー内のサブクラスが規定されることも予想される。エリアネットワークや、それらで使われているデバイスなどの非 oneM2M システムとの個別相互接続が促進されることが期待される。

目次：

1 章 所掌範囲 (目的)

(1. Scope の中身 (英文) を訳して記入)

本文書は oneM2M 基本オントロジーを規定する。基本オントロジーの公式 OWL 表現は http://www.onem2m.org/ontology/Base_Ontology にある。

また、本文書はセマンティックアノテーションや、基本オントロジー準拠相互接続の際に行う、基本オントロジーの oneM2M リソースへのインスタンス化についても規定する。

最後に、他オントロジーとの対応付けの具体例を記載する。他オントロジーとしては、Smart Appliances REference (SAREF) オントロジーを用いる。

2 章 引用文献

3 章 定義、略語と頭字語

4 章 表記法

5 章 oneM2M 基本オントロジーの概説 (情報)

本章では、基本オントロジーの全体図を示し、セマンティックアノテーションの方法を規定している。

6 章 クラスとプロパティの規定

本章では、基本オントロジーで使用できるクラス・オブジェクトプロパティ・データプロパティ・アノテーションプロパティを規定している。

7 章 基本オントロジーと外部オントロジーの、oneM2M システムへのインスタンス化

本章では、基本オントロジーなどを oneM2M リソースで表す (インスタンス化する) 方法や、他オントロジーと基本オントロジーの対応付けに関する基本ルールを規定している。

付則 A (規則) 基本オントロジーの OWL 表現

本章では、基本オントロジーの OWL 表現を説明している Web ページへのリンクを示している。

付則 B (情報) 他オントロジーと基本オントロジーの対応付け

本章では、基本オントロジーと SAREF との対応付けの具体例を示している。

Summary :

oneM2M's Base Ontology constitutes a basis framework for specifying the semantics of data that are handled in oneM2M. Sub-classes of some of its concepts are expected to be defined by other bodies in order to enable semantic interworking. In particular interworking with non-oneM2M systems (e.g. Area Networks and their devices) should be facilitated.

The present document contains the specification of the oneM2M Base Ontology. A formal OWL representation of the Base Ontology can be found at http://www.onem2m.org/ontology/Base_Ontology.

The present document also specifies an instantiation of the Base Ontology in oneM2M resources which can be used for semantic annotation and for ontology based interworking [4].

Finally an example is given how external ontologies can be mapped to the Base Ontology. The example uses the Smart Appliances REFerence (SAREF) ontology (<http://ontology.tno.nl/saref>).